

増毛山道 石狩境界まで復元へ



NPOが最後の400祀ササ刈り

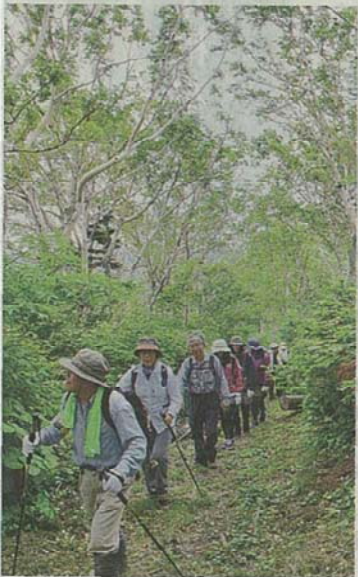
【増毛】江戸末期に開かれた生活・交易路「増毛山道」の復元を目指すNPO法人増毛山道の会（伊達東会長）は本年度、増毛町と石狩市の境界手前までの増毛側最終点まで400祀のササ刈りをする。本年度の体験トレッキングは、増毛側終点まで行く21キロの新コース「アタックフィニッシュ」を含め、7月から10月まで計8回行う。

（野崎正夫）

7月からトレッキング8回

増毛山道は増毛町別荘―石狩市浜益区幌の約27キロ。安政4年（1857年）、幕府の命を受けた増毛場所の場所請負人、伊達林右衛門が開削した。山道の会と留萌振興局が2009～10年度に別荘―岩尾の約16キロ、14年度に岩尾分岐―雄冬山（1197米）直下まで約4・6キロを復元した。約400祀のササ刈りは7月初めごろまでに終えたい考え。これで山道の本線の留萌管内側約16キロが完全復元され、残りは石狩管内側の約11キロ。伊達会長は「いよいよ留萌管内側の境界線まで達する。これからは石狩管内になるが、諸問題を解決して幌までの復旧を目指す」と話す。

増毛側終点までの「アタックフィニッシュ」は9月に2回行う。昨年は雄冬山直下までのトレッキングを10月中旬に行ったが、日没が早く時間に余裕がなかったため、時期を早めた。バスで標高約600メートルの山道途中まで登り、岩尾分岐を経て増毛側終点まで往復し、岩尾へ下山する。



昨年7月に行われた増毛山道体験トレッキング

このほか、体験トレッキングは、岩尾―別荘間16キロのフルコース3回、バスで山道途中まで行く5キロのミニコース1回、11キロのミドルコース2回を予定。ミドルは1キロ距離を伸ばした。ミニは午前中にトレッキング、午後から町内の歴史的建造物を巡る。一般と小学生3年生以上の親子が対象。いずれも近く参加を募集する予定。

体験トレッキングの日程は次の通り。

- ▽ミドル 7月11日、9月19日▽ミニ 7月25日▽フル 8月8日、10月10日、10月24日▽アタックフィニッシュ 9月5日、同26日